

授業科目 バレーボールⅠ

【担当教員名】 五十嵐 正美		対象学年	2	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 バレーボールに関する技術及びルール、審判法等の知識や理論を学ぶとともに、その指導法を理解する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. バレーボールの競技特性を理解する。 2. バレーボールのルールを理解する。 3. バレーボールの基礎トレーニングとその指導法を学ぶ。 4. バレーボールの攻防の個人的技能を学ぶ。 5. バレーボールの攻防の集団的技能を学ぶ。 6. 試合等の総合練習を通して競技能力を高める。					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	授業ガイダンス、バレーボールの特性理解		講義・実技		
2	簡易ゲーム		実技・グループワーク		
3	オフェンスの個人技能練習（パス）		講義・実技		
4	オフェンスの個人技能練習（パスとレシーブ・トス）		実技・グループワーク		
5	オフェンスの個人技能練習（スパイク・サービス）		実技・グループワーク		
6	ディフェンスの個人技能練習（パスアタックのレシーブ、スパイクのブロック）		講義・実技		
7	ディフェンスの個人技能練習（サービスレシーブ）		実技・グループワーク		
8	個人技能を中心とするゲーム		実技・グループワーク		
9	攻撃の連携プレイ練習（3段攻撃・時間差攻撃等）		講義・実技		
10	防御の連携プレイ練習（サーブレシーブからの攻撃、カバリング等）		講義・実技		
11	連携プレイ中心のゲーム		実技・グループワーク		
12	オフェンスの組織的プレイ練習（フォーメーション等）		講義・実技・グループワーク		
13	ディフェンスの組織的プレイ練習（サービスレシーブ又はスパイクレシーブからのフォーメーション）		講義・実技・グループワーク		
14	総合的な試合及びルール・審判法の学習		実技・グループワーク		
15	総合的な試合及び審判法の学習、学習のまとめ		実技・感想文		
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）		特になし			
参考書		特になし			
その他の資料		毎時間、教師が指導資料を作成、使用する。			
【評価方法】 出席状況、授業態度、技能、知識・理解力から総合的に判定する。		【履修上の留意点】			